

# 11期 再発見！何でも見てやろう

## 京都鴨川をどり 1.2 班合同

5月9日(火) 5月18日(木)

春の京都を一層華やかにしてくれるのが「春のをどり」です。祇園甲部（都をどり）、宮川町（京おどり）、上七軒（北野をどり）、先斗町（鴨川をどり）の4花街にある歌舞練場等で春に開催され、そして秋には祇園東で祇園をどりが開催されます。目の前で繰り広げられる舞踊の素晴らしさはもちろんのこと、芸妓や舞妓がまとう華麗な衣装も見所のひとつです。

鴨川をどりは1872年（明治5年）に開催された日本初の博覧会「第1回京都博覧会」の観光客誘致の一助として創演されたのがはじまりです。

1884年（明治17年）～1894年（明治27年）の11年間、大戦中の1944年（昭和19年）、1945年（昭和20年）と中断されたこともありましたが、戦後すぐの1946年（昭和21年）には再開。1951年（昭和26年）から1998年（平成10年）までは春・秋と年2回の公演が行われるなど、京の五花街の公演のなかでも最多の上演回数を誇る花街舞踊公演です。

年1回の公演となった1999年（平成11年）からは、毎年5月1日から24日まで開催され、京都の春の風物詩として親しまれています。



舞妓さんの楽屋入り







座席は敷席・椅子席でした



観劇の後は楽しい食事会です。

